

Brasil cafe presents クロスカルチャーイベント vol. 3

# Agro Cultura

—「畑を耕す」こと「心を耕す」こと—



ブラジルで食卓に毎日のようにあがる豆料理「フェジジョン」を食べながら、講師・佐藤真守さんのブラジル農業のお話を伺います。

7月12日 (金) 19:00～

右岸の羊座 仙台市若林区南小泉4-1-11

\*若林区役所、若林図書館・文化センターより徒歩5分、駐車場3台有

主催：ブラジルカフェ仙台

<http://valeria-cafe.com> E-mail [valeriaharue@yahoo.co.jp](mailto:valeriaharue@yahoo.co.jp)

共催・問い合せ：右岸の羊座

tel 022(353)9071 [www.hitsuji.info](http://www.hitsuji.info)

料金：2000円（食事代含む）

講師 佐藤真守さん



1942年、ブラジル・サンバオロ州オンダベルデ市生まれ。コーヒー、綿、米農園で10歳まで過ごす。1952年に来日。以後仙台市在住。ラテンアメリカ文化交流協会・SACLAの会員として所属し、ラテンアメリカ文化の音楽イベントや留学生との交流イベントを企画・運営する。仙台ハーフマラソンのメキシコ・アカブルコの招待選手の受け入れなども行っている。現在71歳、和菓子技能士として後進の指導にあたるなど活躍の幅をひろげている。

## インタビュー 大槻ヴァレリア・ハルエ

ブラジル・サンバオロ市生まれ、31歳まで生活。1905年、東北大学歯学部小児歯科で技術研修のため来日。1997年に結婚、仙台での生活が始まる。2000年よりポルトガル語講師。ブラジル文化の紹介、講演会、国際交流イベント、多文化共生プログラムに参加。2009年からはブラジルカフェ仙台として、料理教室やアーティストとのコラボ企画を展開、ブラジルのイベントを楽しむプランニングを提供。震災後、ブラジルの詩を仙台市内の仮設住宅で紹介する活動や、仙台国際交流協会のラジオ多言語放送局の番組に参加する。中年からは日本人移民たちがブラジルで歌った「日本のうた」の研究を始める。

